

## 第2回 海南市総合計画審議会 議事要旨

日時：令和6年11月12日（火） 午後15時

場所：海南市役所 3階 3A会議室

### 1. 議事

(1) 意向調査結果

(2) 計画体系（骨子案）

(3) その他

### 2. 会議結果

(1) 意向調査結果

(A委員)

市民アンケート結果で若い世代の回答者が少ない。海南市の未来を考えていくには、若い世代の声も必要なので、30代以下の意見が少数意見とならないようにして欲しい。

(事務局)

市民アンケート以外に、高校生アンケート、子育て世代インタビュー、大学生・市内企業若手社員のワークショップ等を実施している。

(2) 計画体系（骨子案）

(B委員)

安心して産み育てる環境づくり、妊娠期からの支援を打ち出すのであれば、安心して出産できる施設の検討が必要。また、高校生アンケートの中で、学校以外での学習の場を希望しているが、どの基本施策に入るのか。

(事務局)

学校以外の学習の場は、基本施策2－4生涯学習の充実の中での取り組みになると考える。産科については、現実問題として設置は難しい状況ではあるが、妊娠は市内で、出産は市外でという取り組みを進めている中で、さらにどのような支援ができるのか検討できればと考えている。

(C委員)

住むところは働く場所で変わってくる。市内には有数の製造業がある。和歌山市や有田市等と広域で就職セミナーを行うなどの取り組みも必要。子育てや教育、福祉の問題も、住む場所が決まってからの事。Iターン、Uターンも含めて取り組む必要があると思う。

(D 委員)

学校教育の充実とあるが、和歌山市の学校はトイレが洋式化されており綺麗である。地域コミュニティの充実とあるが、自治会を抜ける人が多く、一度抜けると戻ってこない。抜けてもゴミは捨てられるので困らないと言われる。

(事務局)

学校のトイレの洋式化について望む声が多いのは、教育委員会においても認識しており、今後さらに、取り組んでいかななくてはならない施策である。地域コミュニティについても市民の方々の負担が大きいとの声もお聞きしており、市としてどのような取り組みができるか検討している。

(E 委員)

人口減少は止められないが、人口減少に対する基本施策がないと思う。

アンケート調査の中で、海南市のシティプロモーションについて、どのようなメディアで取り上げられると嬉しいかという問いの結果として、テレビが上位に挙げられているが、回答者は高齢者が多い。インターネット等のSNSを関連付けながらやる必要があると思う。

(事務局)

次期計画策定の基本的な考え方として、人口減少は一定受け入れつつも、人が残り、戻り、安心して産み育てられる取り組みを進めていくことで、人口減少幅を抑制できるか、また、海南市に住んでいる、これから住み続けようと決めている方々が、これからも住みやすいまちであり続けられるという視点での計画づくりとなる。

今回の計画は、人口減少に特化した「総合戦略」を盛り込んだ内容としており、人口減少対策も主眼においた形となる。

どのようなメディアで取り上げられると嬉しいか、という設問に関するクロス集計の結果、概ね若い世代になればなるほど、SNSの割合が高い。これらの意向も踏まえながら、シティプロモーションを行うことも必要と考える。

(F 委員)

理想のまちの姿は変更しないのか。

(事務局)

次回以降の審議会で案を示せればと考えている。

(G 委員)

温暖化が進むと、これまで作っていた農作物が作れなくなる。10年後、20年後を見据えた対策を考えるのも大事。